

する段取りを描いています。

1939年7月

トマホーク導入検討

「敵基地攻撃」日本政府、米に打診

日本政府が「反撃能力」を改定する方針を示す。すでに米側は「敵基地攻撃能力の保有」を改定する方針を示す。その中で、米国から巡航ミサイル「トマホーク」の導入を検討している。この方針は、日本が北朝鮮や中国を攻撃する場合に備えて、海上自衛隊の護衛艦を用いてトマホークを運用する方針である。



米海軍によれば、単価は約110万ドル（約1・6億円）。ただ、米国の武器輸出制度である「有償軍事援助」（FMS）に基づいて購入するため、金額は米側主導でつり上がる可能性が高い。

日本政府が「反撃能力」を改定する方針を示す。すでに米側は「敵基地攻撃能力の保有」を改定する方針を示す。その中で、米国から巡航ミサイル「トマホーク」の導入を検討している。この方針は、日本が北朝鮮や中国を攻撃する場合に備えて、海上自衛隊の護衛艦を用いてトマホークを運用する方針である。